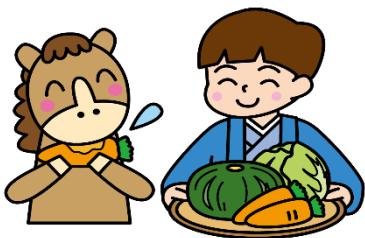


1月 食育だより

上尾市立東町小学校
令和7年度1月号

今年はうま年!



うまいように野菜をたっぷり食べよう!



箸をうまく使いこなしてきれいに食べよう!



よく味わってうまいを感じよう!

1月11日は鏡開き

鏡もちを小さく割ってお汁粉などに入れ、無病息災を願って食べる行事です。もちを小さくするのに、包丁など刃物を使うのは武士の「切腹」を連想させるため縁起が悪いとされ、木づちや手で割ります。また、「割る」ではなく「開く」という縁起の良い言葉が使われます。



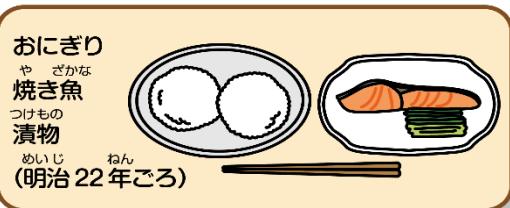
1/24～1/30は
「全国学校給食週間」です



学校給食の始まり



明治22(1889)年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子供たちへ食事を提供したのが始まりとされています。戦争が始まると中止されましたが、戦争後、子供たちの栄養不足を改善するために、外国からの援助で脱脂粉乳を溶かしたミルクと味噌汁の給食が再開されました。その後、揚げパンや牛乳、ソフト麺などが登場しました。



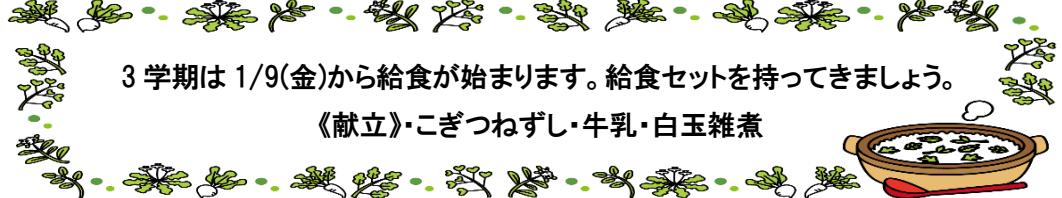
おにぎり
やさかな
焼き魚
つけもの
漬物
(明治22年ごろ)



五色ごはん
栄養みそ汁
(大正12年ごろ)



学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わらずに、「子供たちが飢えることなく、おいしく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。現代では、大人になっても自分自身で考えて健康な食生活を続けることができるよう、学校給食は「教材」としての役割も担っています。給食の歴史を感じながらいただきましょう。



3学期は1/9(金)から給食が始まります。給食セットを持ってきましょう。

《献立》・こぎつねずし・牛乳・白玉雑煮